

マルチチャネル・コマース・ソフトウェアの世界トップ企業 独ハイブリス社とのパートナー事業を開始 ～日系多国籍企業、日本への進出を図る海外の多国籍企業がターゲット～

セイノーホールディングス株式会社（本社／大垣市田口町1番地、田口義隆社長）では、子会社である株式会社セイノー情報サービス（本社／大垣市田口町1番地、臼井功社長）とマルチチャネル・コマース・ソフトウェアの世界トップ企業であるハイブリスジャパン（本社／東京都港区虎ノ門5-11-1 オランダヒルズ森タワーRoP 502、森田正昭社長）がパートナー契約を締結することで、セイノーグループで提供している既存の物流システムや在庫管理システムに加え、顧客の購買履歴などを一括管理できるソフトウェアの提供が可能となりました。

インターネットの普及により、企業はさまざまなチャネルを使って顧客と接するようになった一方で、その情報が店舗、ウェブ、コールセンターなどチャネルごとの縦割り構造になっており、相互の連携が取れていないという現実があります。このため、同一の店舗であっても一人の消費者が違うチャネルにまたがって利用すると、消費者はその都度情報提供が必要になることがあります。そのため、顧客の購買履歴などを一括管理できるハイブリスのソフトウェアは、製造、流通、小売、電気通信、デジタルコンテンツなど幅広い業種の企業から支持され、全世界で400社以上、42カ国でサービスを提供しています。

今後セイノーグループでは、「消費者から受ける影響が大きく、変化の早い業界」にいる日系多国籍企業や日本への進出を図る海外の多国籍企業をターゲットに、従来の商業物流No.1の物流機能・ネットワークや物流ソリューションに加え、マルチチャネル・コマース・ソフトウェアをラインナップしたサービスを展開していきます。これにより、お客様のすべてのチャネルに対して一貫性のある情報発信と、その情報をもとにした最適な物流をサポートし、革新的なビジネス展開とグローバルな企業価値向上に寄与していきます。

※マルチチャネル・コマース・ソフトウェア

ネット通販、店舗販売、コールセンターなどの複数のチャネル（経路）が一括管理された共通の情報（製品情報や顧客情報など）を使い、チャネルごとに情報が縦割りにならず、スムーズに連携するコアな仕組みのこと。

■会社概要

社名：セイノーホールディングス株式会社
所在地：岐阜県大垣市田口町1
代表者：代表取締役社長 田口義隆
設立日：昭和21年11月1日
資本金：424億8,100万円
事業内容：貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、航空運送代理店業、通関業、国際複合一貫輸送事業他

社名：株式会社セイノー情報サービス
所在地：岐阜県大垣市田口町1
代表者：代表取締役社長 臼井功
設立日：昭和59年3月1日
資本金：1億円
事業内容：物流に関するソフトウェアの開発、コンサルティング、業務運用サービス、ITインフラ構築他

社名：hybris GmbH (Global Headquarters)
所在地：Nymphenburger Str. 86 80636 München
代表者：最高経営責任者 Ariel Lüdi
設立：1997年
事業内容：マルチチャネル・コマースに特化したソフトウェアの開発、販売、コンサルティングサービス
(顧客企業はH&M、ルフトハンザ、リーボック、エリクソン、トイザラス、リーバイスなど。従業員数400人ながら、米国のガートナーやフォレストラー・リサーチの調査では、IT業界のリーディングカンパニーとして高く評価されています)

社名：ハイブリスジャパン株式会社
所在地：東京都港区虎ノ門5-11-1 オランダヒルズ森タワーRoP 502
代表者：代表取締役社長 森田正昭
設立日：平成24年1月4日
資本金：1,000万円